

東松山市の概要

東松山市は、埼玉県のほぼ中央部、都心から約 50 km圏に位置し、周囲は 2 市 5 町に接している。比企地域の政治・経済・文化の中心として発展を続け、自然に恵まれた豊かな田園都市を形成するとともに、首都圏のベッドタウンとしての役割も担ってきた。毎年 11 月に開催されるウォーキングの祭典「日本スリーデーマーチ」には全国各地から 8 万人を超える参加者が集まることで知られ、名物のやきとりや特産の梨が有名である。

総面積は 65.33 km²で、市域の北部と南西部には、海抜 60～100m の丘陵地が盛り上がり、東境沿いを南東流する市野川と、南部を流れる都幾川の流域には、肥沃な沖積低地が開けている。昭和 29 年 7 月に市制が施行された当時の人口は約 37,000 人であったが、平成 19 年 4 月 1 日現在の人口は 90,114 人、世帯数は 34,343 世帯で、近年は人口が微減、世帯数が微増傾向にある。

交通は、市内のほぼ中央を東武東上線が縦断しており、「東松山」駅と「高坂」駅の 2 駅を利用して、池袋・川越方面、寄居・小川町方面へと通じている。道路は関越自動車道が東武東上線とほぼ平行に市内を縦断し、石橋地区に東松山インターチェンジが設けられている。また市の中心部を核にして、国道 254 号と 407 号、県道、主要地方道等の幹線が派生している。平成 9 年に国道 254 号東松山バイパスが開通、平成 15 年に国道 254 号唐子バイパスが開通、平成 19 年 3 月に国道 407 号東松山バイパスが開通した。

商店街は、国道 407 号沿いに大型専門店等が建ち並んでいるほか、東松山駅東口方面にイトーヨーカドー、丸広百貨店等の大型小売店舗が立地し、駅から市役所へ向かう通りに古くからの飲食店や日用品小売店舗等が連たんしている。市の工業は自動車関連の輸送機械工業を中心に発展してきたが、昭和 50 年代に市の西部、新郷地区に県の企業局が造成した「東松山工業団地」が誕生し、現在は製造業を主体に約 55 社が事業を行なっている。

市政運営方針として『生活重視・福祉優先』を掲げ、平成 12 年に「総合福祉エリア」を建設して以降、生涯学習のための「きらめき市民大学」の開校や心身障害者地域デイケア施設・障害者就労支援センター、子育て支援センター等を開設してきた。平成 17 年度からは 5 ヶ年事業として、長年の懸案となっていた東松山駅東口駅前広場の整備に着手しており、駅舎の改築や西口駅前広場の整備も併せて、バリアフリー化された安全な駅前広場を目指している。また、高坂駅東口第一土地区画整理事業では都市計画道路高坂駅前通線の工事に着手、下水道事業も区画整理事業の進捗に併せ整備が進められている。

平成 19 年 4 月 9 日作成